

都万小学校 研究の土台

令和3年11月作成

学校教育目標 心豊かで、たくましく生きる都万の子を育てる

- ★進んで学ぶ子ども（学力アップ）
- ★助け合う子ども（ハートアップ）
- ★最後までがんばる子ども（パワーアップ）
- ★ふるさとを愛する子ども

研究主題

主体的に課題に取り組み、伝え合い高め合う児童の育成

関わる力を育むための集団作り



主体的に行う児童会活動

自分たちで「笑顔あふれる学校」を作るために、児童会は大きな役割を果たしている。

生活目標は、運営委員会の児童が中心になり決めている。月ごとではなく、達成できたかどうかを確認しながら、新しい生活目標に切り替えていく。その際には、アンケートを実施するなどして、みんなの意見を取り入れながら決めている。

児童朝会を受け、各学級で話し合い具体的な目標を決める。また、各学級のふりかえりも児童朝会で発表する。



縦割り班活動

★TT タイム

月に2回、掃除の時間をカットして、縦割り班(8班)で遊ぶ時間を設定している。相手のことを考えながらみんなが楽しめるよう高学年を中心に計画を立て活動をしている。

★全校遊び

TT タイムのスペシャル版として、全校遊びも行っている。教員主催の逃走中や、6年生主催、児童会主催など様々な形で行われている。



★がんばったカード

縦割り班活動のスタートには、縦割り班開きを行った。上の写真のように、4色の組ごとに旗づくりを行った。

その旗には、一人一人の写真が貼られており、月末にはがんばったカードを貼っている。

がんばったカードには、自分がその月にがんばったことをふりかえり記入する。それを学級で交流した後に、掲示することで、全校の目に触れる機会にもなっている。自己肯定感を高める取り組みになっている。

主体的に学んでいくための基礎学力

漢字・計算大会

主体的に学習を積み重ねると、基礎基本となる漢字や計算の力がつくことを、子ども自身が実感できることをねらって実施している。意欲的に自学に取り組む児童が増えた。

- ・第2、第4木曜日の2時間目に、それぞれ計算、漢字大会を行う。
- ・全校一斉に、教頭先生の放送を合図に開始。
- ・あらかじめ、出題範囲を知らせたり、プレテストをしたり、類題を解いたりする環境を作る。
- ・年間計8回実施。記録証を作成し、自分の記録を残す。前後半4回ずつで区切り、点数に応じて表彰を行う。(賞に届かない児童については、担任裁量で表彰を行っている。)



家庭学習の習慣化

家庭学習の習慣化を図り、主体的に自分のために学習ができるように、環境を整えることをねらっている。

- ・1,2年…毎日宿題をする。20分以上が目安。
 - ・3,4年…毎日宿題+自学をする。30分以上が目安。自分の力で取り組む。
 - ・5,6年…毎日宿題+自学をする。50分以上が目安。自分で課題を考えて取り組む。
- ★自学ノートを使い終わり、新しいノートになる時には、教頭先生のところに行き、報告。新しいノートの表紙シールをもらう。職員室で褒められる機会を作り、意欲づけになった。



★自学パワーアップ days

自学への意欲を高めるために不定期で、学年を超えて自学ノートを交換する取り組みを行った。これにより、漢字・計算大会に向けての頑張りの高まった。

★学力パワーアップ週間

学期に1回、2週間程度を学力パワーアップ週間とし、放課後30分、国語・算数の基礎学力の定着を目指して、実施した。



安心して自分を出すための学級経営

生活ノート(3~6年)

連絡帳、家庭学習の記録。毎日のふりかえりの機能がある。毎日のふりかえりに対して、教師も毎日返事を返す。その際には、プラスのフィードバックができるように心がけ、児童の自信につながるようにしっかり認めるようにしている。



行事ふりかえりシート

行事ごとに、めあての設定からふりかえりまで行うことができるシートを年間通して使用し、年度末にはキャリアパスポートにはさむようにしている。

自分は何をがんばるのかを明確にして行事に参加し、行事の後はめあてが達成できたのか自己評価し、今後に生かしたいことを考える。この一連の流れを繰り返していくことでめあてを持って、自主的に学校生活を送ってほしいと願っている。



相談できる体制づくり

学期に1回、教育相談週間を実施。担任とは必ず話す時間を設定し、さらにアンケートを実施して希望があった児童は、自分が話したい大人と話ができるようにしている。スクールカウンセラーの活用は、早期につなぎ、「よりよい自分になるための作戦会議として話をする」という捉えで活用する。こうした、「相談できる力」を育てることに力を入れている。

その他

★いいところ見つけ(4年)

友だちのいいところに目を向ける、友だちに認めてもらえる環境づくりとして実施。

★朝のスピーチ(5年)

朝の会で、一人ずつスピーチをする時間を設定し、表現する力を伸ばすことをねらう。

★班ノート(6年)

班の中で、友だちに認めあい、困ったこと



学級の歩み

学級がどんな歩みをしてきたのかを児童に分かりやすいように、1か月ごとのまとまりで視覚化して、掲示している。学級の成長の証であり、児童のがんばりが視覚化されることで、うれしそうに眺める様子もある。プラスのフィードバックが形として残ることで、児童の所属感や学級の安心感につながり、次の活動への意欲づけにも役立っている。

